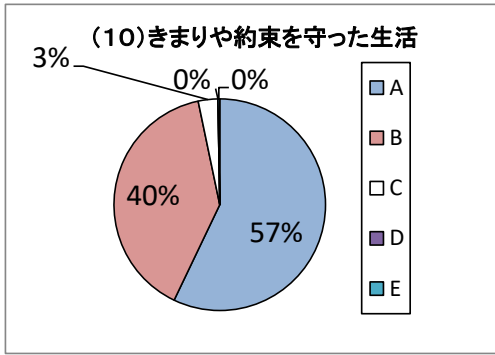
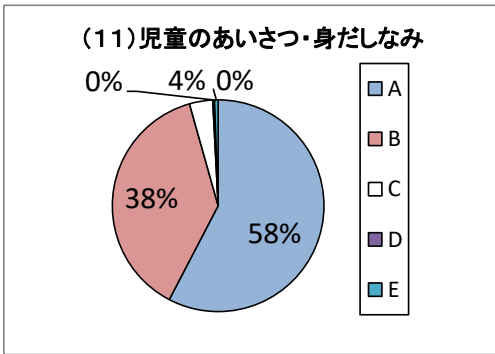


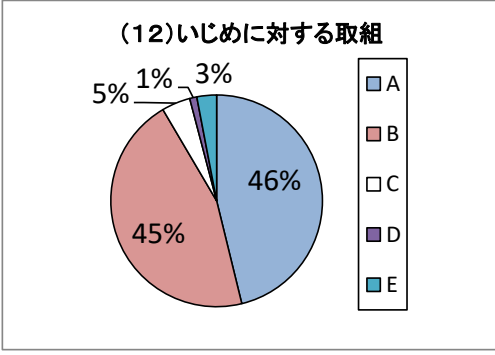
昨年と同様の評価をいただきました。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、計画的に東京都が進める「世界ともだちプロジェクト」を推進しています。2月には、2回目の全校による友達国についての発表会を予定しています。また、昨年度と同様に、パラリンピックの意義や価値に触れ、障がいがあるなしに関わらず、工夫さえあれば共に楽しむことができることや困難を乗り越えていくために強い心が大切であることなども伝えていきます。そして、特別の教科道徳を意識し、教科書も一新し、道徳ノートへの児童一人一人の学習の記録が始まりました。一つの価値を押し付けるのではなく、多様な見方から最適解を導き出す力は、これからの未来を切り開いていく子供たちに必要な力です。道徳教育をさらに改善し、心と体のバランスを考えた教育を推進してまいります。



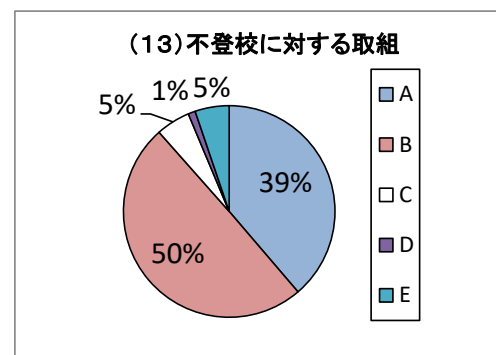
昨年度とほぼ同様の評価ですが、若干「達成している」の割合が下がりました。最近、夕方の帰宅の遅さ、SNS活用の仕方、お金の使い方など、家庭での約束事を徹底しなければ改善しない内容の問題が寄せられることも多いです。学校で共通理解すべききまりや約束は全校朝会で確認したり、学年集会で共通理解を図ったりしています。保護者会や学年便りでお知らせした内容は、家庭でも話題に出し、お子さんの様子を確認してください。学校でも協力しながら対策を考えていきます。保・幼小中学校の連携の観点からも学校でのきまりを共通理解し、中学校に向けて、身に付けておかなければならない社会的なルールにも気付かせていけるように指導していきます。



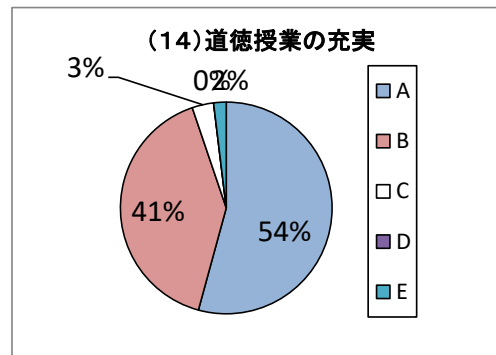
昨年度より「達成している」割合が10%以上増えました。1年生もあいさつボランティアに参加する姿があり、高学年がよい手本になっているからだと感じます。秋になりピロティの落ち葉が増える時期には、自分から進んで落ち葉を箒で集め掃除をする姿もあります。今年度も、学期ごとに校長よりボランティアに参加した子供たちを表彰し、その貢献を紹介しています。大人がその姿を価値付けてあげることで、子供たちは進んでよいことをする気持ちよさを感じるのだと思います。ちょっとした毎日の積み重ねが、どんな時でも当たり前のことを当たり前にできる子供たちの姿につながっているのだと考えています。地域の方への挨拶はこれからも指導を続け、改善を促します。



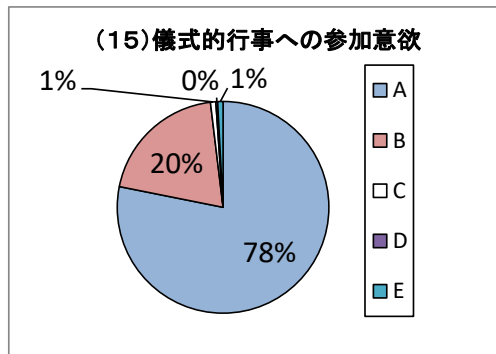
昨年度と同様の評価をいただきました。今年度も生活アンケートを毎月行い、いじめの早期発見に努めています。アンケートの内容から心配なことがあれば、一人一人と面談し、問題の解決に取り組んだり、教職員で共通理解したりしています。また、ハイパーQUの結果を個人面談で返却し、人間関係やクラスでも様子に触れながら共通理解をしてきました。今年度も本校の区・都から配置されたカウンセラーが4年生と5年生の全員面談を行い、昨年度からの変化なども確認しています。全員面接の成果なのか、カウンセラーと会話する機会が増えた児童もいるようです。これからも、保護者・地域・学校が情報を共有し、いじめの防止に努めます。



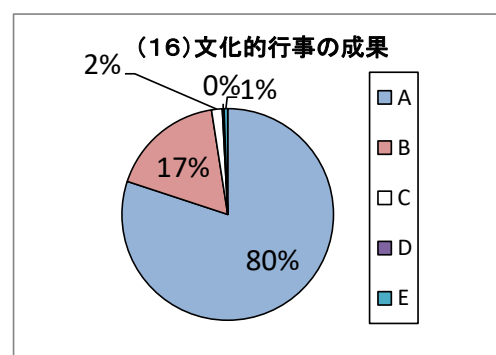
今年度より、不登校に対する取組をいじめに対する取組と分けて評価を行いました。前年度との比較はできませんが、他の項目に比べ「達成している」の割合が低いという結果が出ています。残念ながら今年度は数名の不登校の傾向があるお子さんがいらっしゃいます。学校としてはSCや関係機関と共にケース会議を開いたり、担任と一緒に家庭訪問や聞き取りをして解決方法を探っています。学校が楽しいところであると感じてもらえるために、教職員一同、解決に向けて努力してまいります。



今年度より、新しく項目を立ち上げ、道徳授業の充実を意識して取り組んできました。通知表での評価も始まり、研修会を通して、共通理解をしながら授業構築をしています。道徳授業地区公開講座を毎年実施し、保護者・地域の方とも子供たちの心の教育に関心をもってもらうと努力しています。人権週間には、「人権の種」を題材にして、各学年で「人権」をテーマに考えてもらう取組を行いました。道徳の価値を自分の生活と結び付けて考えられる子供たちに成長するように授業改善を進めていきます。



昨年同様、よい評価をいただきました。今年度は開校25周年記念式典・集会有り、全校で記念すべき儀式的行事を実施することができました。歴史や伝統をつないでいく大切さや価値を低学年でも感じる姿がありました。「赤坂小では、高学年がお手本となり大きな声で歌を歌ったり、返事をしたりすること」という大切な伝統が根付き、確実に中・低学年により影響を与えています。日頃の積み重ねが、行事に参加する心構えとして身に付いていることを嬉しく感じます。引き続き、入学式や卒業式など凛とした態度で参加する意味や価値を伝えていきます。



昨年より「達成している」割合が8%も高まりました。今年度は学芸会の年で、どの学年も発達段階にあった内容の劇に取り組むことができました。結果だけを追い求めず、練習過程を大切にすることができるよう共通理解をしながら指導を進めています。表現する楽しさを自信につなげるお子さんも多くみられました。学芸会以外にも、音楽芸術等鑑賞教室や書き初め会など、学年に応じて感性を育てていく取り組みも定着してきました。今後も、子供たちの個性を発揮させ、情操教育に力を入れてまいります。